



平成25年5月1日

各位

上場会社名 浜井産業株式会社  
代表者 代表取締役社長 武藤 公明  
(コード番号 6131)  
問合せ先責任者 常務取締役管理担当 山畑 喜義  
(TEL 03-3491-0131)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,800	△370	△395	△780	△24.04
今回修正予想(B)	3,118	△510	△512	△901	△27.78
増減額(B-A)	△682	△140	△117	△121	
増減率(%)	△17.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	5,180	△146	△210	△150	△4.62

#### 修正の理由

当社の主要な顧客であります電子・電機関連業界を中心に、欧州、中国等の新興国の景気減速を受け、景気の先行き不透明感から、新規設備投資については、顧客も慎重にその時期を見極めようとしており、新規機械の発注時期が、大幅に遅れている状況が続いております。

平成25年3月期につきましては、当社の主要製品でありますラップ盤において、特にHDD向ガラス基板加工機で、既に受注済大型案件の出荷が翌期となったことが、売上高が計画数値に届かなかった要因の一つであります。

また、LED向サファイア基板加工機や水晶基板加工機につきましても、市場の需給状況等から、顧客が新規設備投資に慎重となり、計画比、受注が未達となりました。

ホブ盤につきましても、主要市場の中国において、日中の政治問題や円高、中国の景気減速等から、顧客の設備投資計画が、先送りとなって、計画通りの販売数量に届きませんでした。

以上のような諸要因から、予定通りの受注計画を達成できず、売上高が、計画比大幅未達となったことが、収益が赤字となった理由であります。

しかし、直近では、中国市場でのホブ盤の引き合いも増えつつあり、また、ラップ盤においてもLED向サファイア基板加工機や半導体シリコンウエーハ向加工機の需要回復の動きも出つつあります。

そのような、市場の需要を確実に取り込み、経費の削減、業務の効率化等の経営努力を不断に実施し、全社を挙げて、業績回復に注力してまいります。

なお、上記のような業績悪化の責任を明確にするため、当社取締役については、これまで実施中の役員報酬の減額幅を従来比1.5倍に引き上げ、報酬月額額の20%～10%のカットを30%～15%に増額して、平成25年4月支給分より実施しております。

(注)本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上